

編著者紹介

いのうえ みか
井上実佳

まえがき（共著）、第1章、第5章、第7章（共著）、おわりに（共著）

東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部 准教授

津田塾大学国際関係学研究科博士後期課程満期退学。修士（国際関係学）。米国コロンビア大学院（SIPA）、広島修道大学、広島平和研究所、外務省調査員などを経て現職。業績に『国際平和協力入門—国際社会への貢献と日本の課題』（分担執筆、ミネルヴァ書房、2018年）。『日本外交の論点』（分担執筆、法律文化社、2018年）など。

かわぐち ちぐみ
川口智恵

まえがき（共著）、第2章、第6章、第7章（共著）、おわりに（共著）

東洋大学グローバル・イノベーション学研究センター 客員研究員

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。博士（国際公共政策）。内閣府研究員、防衛大学特別研究員、外務省調査員、JICA 研究所研究員などを経て現職。業績に *Crisis Management beyond the Humanitarian and Development Nexus* (Routledge 2018)。『国際平和活動における包括的アプローチ—日本型協力システムの形成過程』（共編著、内外出版、2012年）など。

たなか さかべ ゆかこ
田中 [坂部] 有佳子

まえがき（共著）、第4章、第7章（共著）、おわりに（共著）

青山学院大学国際政治経済学部 助教

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程満期退学。博士（政治学）。在東ティモール大使館専門調査員、内閣府研究員、国連アフガニスタン支援ミッションオフィサーなどを経て現職。業績に『なぜ民主化が暴力を生むのか：紛争後の平和の条件』（勁草書房、2019年）。*Complex Emergencies and Humanitarian Response*（分担執筆、Union Press, 2018）など。

やまもと しんいち
山本慎一

まえがき（共著）、第3章、第7章（共著）、おわりに（共著）

香川大学法学部 准教授

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。博士（国際公共政策）。外務省調査員、広島大学研究員などを経て現職。業績に「平和安全法制と国際平和協力—国際的潮流と国内法制度の比較分析」『国際安全保障』第47巻第2号、2019年。『安全保障論—平和で公正な国際社会の構築に向けて』（分担執筆、信山社、2015年）など。

（肩書は2020年1月末時点）

コラム執筆者紹介

おしだりけんろう
忍足謙朗

国連日本 WFP 協会 理事（元 WFP アジア地域局長）

コラム 1

ゆあさたくや
湯浅拓也

流通経済大学スポーツ健康科学部 専任講師

コラム 1

いしかわなおき
石川直己

国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）計画官

コラム 2

き やまさひこ
紀谷昌彦

在シドニー日本国総領事（元・在南スーダン日本国大使）

コラム 3

く ほ た のりひと
久保田徳仁

防衛大学校国際関係学科 准教授

コラム 4

むらかみともあき
村上友章

流通科学大学経済学部 准教授

コラム 5

（肩書は2020年1月末時点）